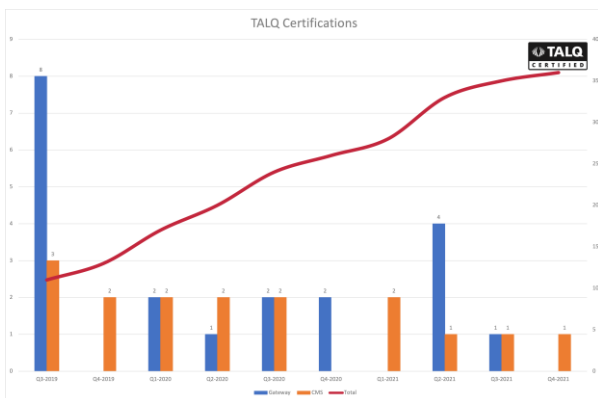


プレスリリース

TALQ 認証の数は増加の一途をたどっている

現在 36 の製品が TALQ 認証を付ける許可を得ています

Piscataway, NJ, USA- 2021 年 11 月 24 日 - TALQ コンソーシアム は、スマートシティデバイスネットワーク用のグローバル **OpenAPI** インターフェース規格であるスマートシティプロトコルを開発し、これまで **36** の製品を **TALQ** に準拠するものと認証しています。厳格な **TALQ** 認証プロセスは、同じプロファイルであると認められたすべての製品が他のベンダーのスマートシティソリューションと相互運用できることを保証しています。これらの長期プロジェクトに投資している市と公益事業の利点は明らかです: 必須条件として **TALQ** 規格を要求するとベンダーロックインが避けられ、競争が刺激されます。



最初の TALQ コンプライアンス認証は、2017 年に 4 つの街路照明システムに与えられました。それから 4 年たち、その規格がさまざまなスマートシティアプリケーションをサポートする **OpenAPI** プロトコルに発展し、現在、合計 36 の製品に、TALQ 認証ロゴが正式に与えられています。

潜在顧客への透明性を保証するた

めに、認証後、製品の認証ステータスはコンソーシアムの **Web** サイトで確認できます。また、サポートされていると確認された機能を明示する「機能リスト」も見ることができます。追加情報を希望するお客様は、どのベンダーからでも詳細なテストレポートを請求することができます。

現在 TALQ バージョン 2 を実装する 36 の認証製品には、27 の会社から提供された 16 の中央管理ソフトウェア(CMS)と 20 のゲートウェイ(屋外デバイスネットワーク、ODN)が含まれています。

「スマート街路灯サプライヤーとして、当社は、各市が独自のソフトウェアやシステムを持つ単一のベンダーに縛られているために、技術的な問題の解決や革新に苦労しているのを常に目にしています。現在、都市にとっての最大の課題は、オープンであり、複数のサプライヤーと協力することです。ですから、当社は相互運用可能なソリューション以外は提供せず、TALQ プロトコルによって互換性を確保しています」と、Schröder Hyperion 社スマートソリューションマーケティング&コミュニケーションリードのジョアナ・ヴィルヘーナは述べています。



「当社は公共照明システムを管理し、スペースを確保し、移動を容易にするためのソリューションの採用を円滑かつ迅速に実現するシステムの相互運用性を信じています。当社のソリューションは市民、ユーザーおよび地域のすべてのパブリックおよびプライベート参加者のお役に立つべく、スマートシティや地域にサービスを提供しています。そういうわけで、当社は、エンドツーエンドのインテリジェント管理を提供する当社の **Tegis** ソリューションを認証したことをお知らせします。当社の広く認められた **TALQ** バージョン 2 インターフェースプロトコルは、お客様にオープンで相互運用可能なソリューションを提供します」と、**LACROIX-City** 社スマートライティングプロダクトマネージャーのギヨーム・モエンロコズは述べています。

「**IBOR** ソリューションが **TALQ** コンソーシアム認証を取得したことを慶んでご報告いたします。統合サービスとこの世界的規格により都市のデジタル転換を加速することができるようになりました。さらに **IBOR** は資産の診断と解析に基づく深い洞察を得られるため産業界のために実績のあるソリューションでもございます。リアルタイムのインサイトとリモートコントロールで省エネと **CO2** 排出、費用の削減が促されます。」

(CGI の **IBOR** 製品エキスパート、ラルフ・ビショップス)

プリント可能な画像は次のリンクでダウンロードできます

<https://www.talq-consortium.org/news/presskit/>

TALQ コンソーシアムについて:

2012 に設立された **TALQ** コンソーシアムは、異種環境のスマートシティアプリケーションをコントロールし、モニターするために、グローバルに受け入れられる管理ソフトウェアインターフェースの規格を確立しました。**TALQ** スマートシティプロトコルは情報交換のための仕様で、さまざまな製品やシステムへの実装に適しています。このようにして、さまざまなベンダーからの中央管理ソフトウェア(**CMS**)と屋外デバイスネットワーク(**ODN**)間の相互運用が可能になり、1 つの **CMS** で都市または地域のさまざまな部分にある異なる **ODN** を制御できるようになります。

TALQ は現在、約 50 のメンバー企業からなるオープンな産業コンソーシアムです。

詳しくは、www.talq-consortium.org でご覧ください

認証された **TALQ** 準拠製品(**TALQ** バージョン 2):

中央管理ソフトウェア(**CMS**):

- BeeZeeLinx による CityLinx、フランス
- Capelon による City Vision、スウェーデン
- CGI による IBOR、オランダ
- CIMCON による LightingGale、米国
- Dhyan による StreetMan、米国
- Flashnet による intelliLIGHT CMS、ルーマニア
- Itron による SLV CMS、米国
- LED Roadway Lighting による SmartLinx、カナダ
- LuxSave による LuxSave Streetlight CMS、スウェーデン
- Paradox Engineering による PE Smart CMS Neptune、スイス
- Schréder による EXEDRA、ベルギー
- SICOM による CityMESH CMSCMS、チリ
- Telensa による PLANet、英国
- TVILIGHT による CityManager、オランダ
- Uvax による Smart Firefly、スペイン
- Wellness TechGroup による WeLight Manager、スペイン



屋外デバイスネットワーク(ODN) / ゲートウェイ:

- Bouygues による Citybox、フランス
- CIMCON による NeaSky、米国
- Flashnet による Flashnet IoT プラットフォーム、ルーマニア
- Itron による SLV ゲートウェイ、米国
- LACROIX による SmartNodes、ベルギー
- LACROIX City による Tegis、フランス
- Lucy Zodion による Ki、英国
- LuxSave による LuxSave Streetlight ゲートウェイ、スウェーデン
- Mayflower による TALQ ゲートウェイを組み込んだ Mayflower CMS、英国
- NEXIODE による WixLi Portal ゲートウェイ、フランス
- Paradox Engineering による PE Smart ゲートウェイ、スイス
- Schröder による EXEDRA、ベルギー
- Schröder による Owlet IoT、ベルギー
- SELC による SELC ゲートウェイ、アイルランド
- SICOM による CITY ゲートウェイ、チリ
- Smartnodes によるアクセスポイントシステム、ベルギー
- ST Electronics (情報通信システム)による AGIL IoT Platform、シンガポール
- ST Engineering Telematics Wireless による T-Light ゲートウェイ、イスラエル
- Trilliant による Trilliant TALQ ゲートウェイ、カナダ
- Uvax による CA-13、スペイン
- Wittl による Wittl TALQ ゲートウェイ、フランス

プレス窓口:

TALQ コンソーシアム

Ms. Eva Jubitz

445 Hoes Lane, Piscataway

NJ 08854, USA

E メール eva.jubitz@talq-consortium.org

インターネット www.talq-consortium.org